

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		母子健康手帳交付事業						予算事業名		母子保健事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				04	01	03	20	経常経費								
総合計画体系									事業の区分		一般事業					
											健康増進課					
									担当課係等		母子保健係					
事業期間		新規 (令和 4年度～ 年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
・市民が乳幼児健診や予防接種, 教室等情報をタイムリーに収集できる。 ・子どもの予防接種や乳幼児健診結果を記録し、子どもの成長確認と健康管理ができる							母子の健康管理および育児支援の一助として、導入を検討していた。全国で398自治体、県内13自治体が導入、活用している。									
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】									
・無料アプリを市民へ提供。 ①自己管理サポート 予防接種や乳幼児健診結果を記録 ②地域子育て支援情報の配信 ③対象に合わせた個別のお知らせ配信							妊産婦および乳幼児とその家族									
							【事業をとりまく環境の変化】 少子化、核家族化、保護者の価値観の多様化などで育児不安を抱える保護者が増加している。また乳幼児の予防接種は種類、接種回数が年々複雑化している。さらに外国人世帯も増加しており、多言語にも対応した育児情報アプリは、市民が手軽に利用できるツールとなる。									
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】								
電子母子手帳アプリの利用 子育て支援情報の配信と個別のお知らせ配信				電子母子手帳アプリの利用 子育て支援情報の配信と個別のお知らせ配信				電子母子手帳アプリの利用 子育て支援情報の配信と個別のお知らせ配信								

■事業費

		R02年度		R03年度				
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0	
	県		支	出	金	0	0	
	地		方		債	0	0	
	そ		の		他	0	0	
	一		般	財	源	0	0	
歳入計 (千円)		0		0				
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)			
歳出計 (千円) (A)		0		0				
伸び率 (%)								
備 考	総合計画 ページ 予算書 ページ							

新規事業事前評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	各年度の母子健康手帳交付時の事業案内件数	件	目標	0.00	0.00	300.00
	利用開始に向け支援した人数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	累計登録者数の増加数	件	目標	0.00	0.00	300.00
	累計登録者数の変化		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	母子の健康管理のサポートや子育て支援情報と対象に合わせたお知らせ配信により育児支援の一助となる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	対象者に必要な市の育児情報を総合的に発信でき、プッシュ通知により有効な情報公開ができる
	手段の妥当性	A 妥当である	アプリによる育児支援は、母子健康手帳を利用する世代に利便性が高い
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	市の情報発信内容、登録者数の変化により効率性を評価していく。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	母子健康手帳利用者が主となるが、家族も活用でき、母子健康手帳利用者以外でも登録をすることで利用することができる
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
コミュニケーションツールの一つとして、手軽に利用し、妊娠・出産・子育て期の母子の健康管理に関心を持ってもらう。さらには、子育て支援情報や対象に合わせたお知らせ配信を行い、子育て世帯の孤立化を防ぎ、不安の解消につなげ、安心して子育てできる環境づくりの一助として実施していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☒ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 子育て中の保護者に対し電子母子手帳アプリを活用することで、子どもの成長記録管理やタイムリーな情報発信を行い、育児不安の解消を図る。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	